

ウゴービ®皮下注 MD自己注射ガイド

食事・運動療法を継続した上で、
ウゴービ®週1回投与による肥満症治療を進めていきましょう。



使用前にこの冊子を必ずお読みください。

◆ この冊子を大切に保管し、いつでも必要なときに取り出して読めるようにしてください。

詳細については、「取扱説明書」をご覧ください。
また、自己注射は、主治医の説明を聞いた上で行ってください。

ウゴービ®皮下注 MDと投与量調整

ウゴービ®皮下注 MDは、週1回投与するウゴービ®のお薬が**4回分(4週分)**入っている注入器です。

最初に使用するウゴービ®皮下注0.25mgペン 1.0MDを4回(4週分)ご使用いただいた後、1本ずつ(4週ごとに)違う色のペンを使っていき、維持用量の2.4mgまでお薬の量を増やしていきます。

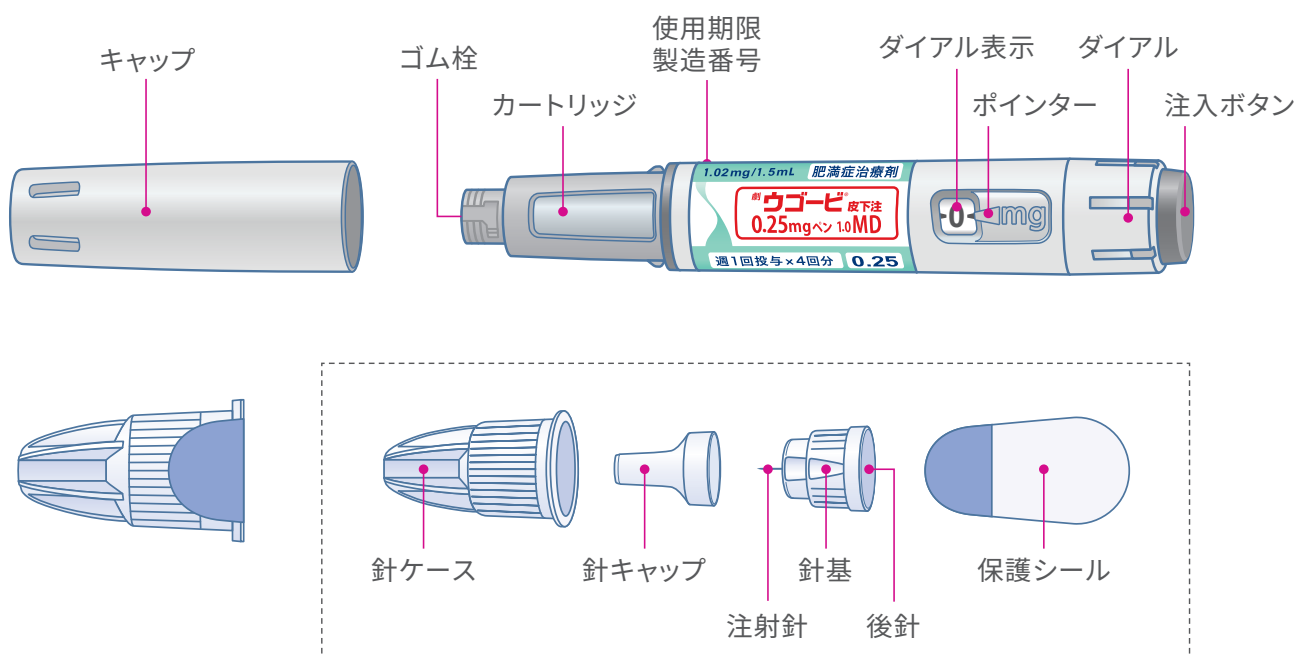
注射は、毎週決まった曜日に投与してください。



・ 消化器症状などの副作用が発現した場合は主治医に相談してください。



各部の名称



A型専用注射針を用いてください。[図はペンニードル®プラスです。]

注射前の準備について

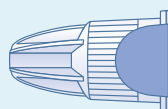
清潔な机の上に以下のものをご準備ください。また、手指を石けんでよく洗ってください。

ウゴービ®皮下注 MD



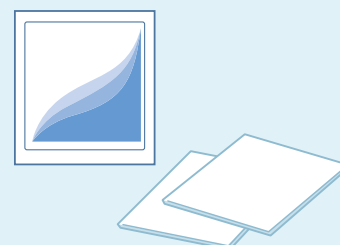
注射針

A型専用注射針を使用します。



アルコール綿

ゴム栓の消毒、投与部位の消毒のために使用します。



・不衛生な環境での注射により、注射部位に感染症を起こし、痛みと熱が出る場合がありますので、消毒は必ず行ってください。

注射針の取り付け

1

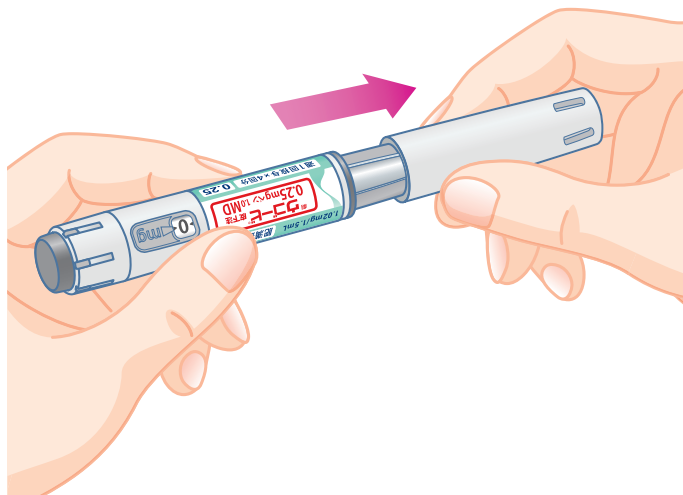
主治医に指示されたお薬の名前と用量であることを確認してください。
用量の数字は「投与量の設定」[9](#)で使⽤します。



ウゴービ®皮下注0.25mg
お薬の名前 用量
ペン 1.0MD

2

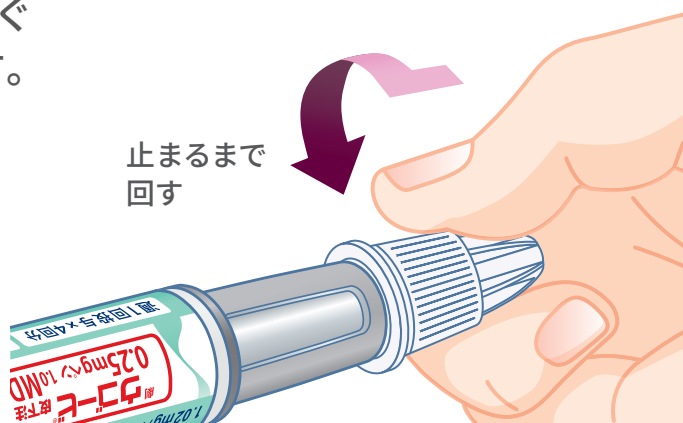
ペンのキャップをはずします。



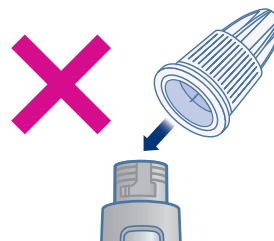
・カートリッジにひびが入っている場合、薬液が無色澄明でない場合は使⽤しないでください。

5

注射針の後針をゴム栓にまっすぐ奥まで刺し、止まるまで回します。

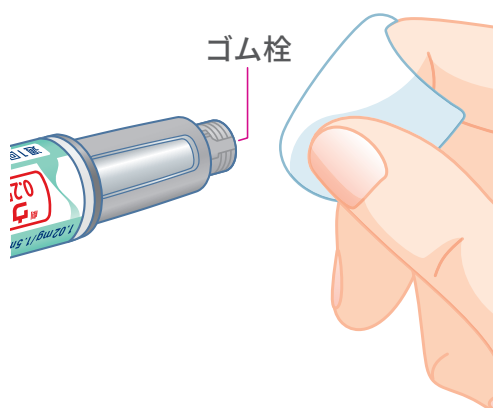


・注射針を斜めから刺さないでください。



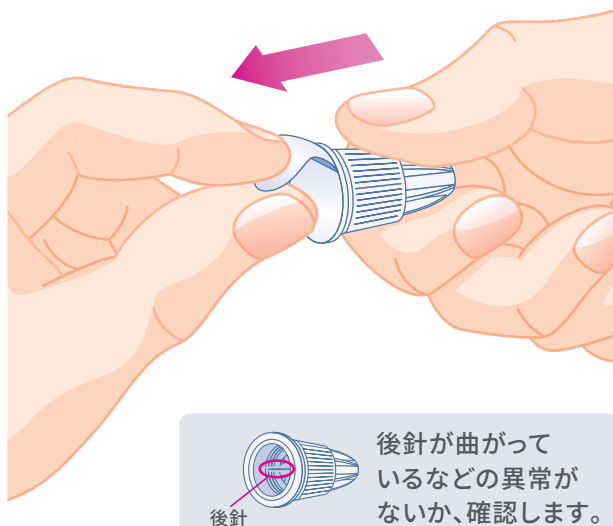
3

ゴム栓をアルコール綿で拭きます。



4

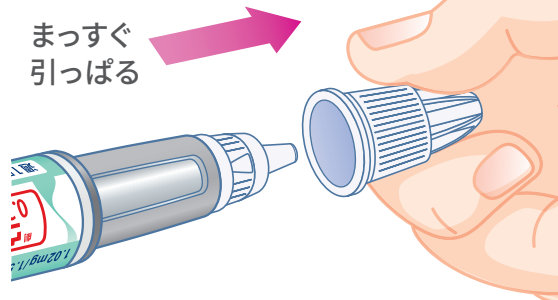
注射針の保護シールをはがします。



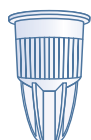
- ・ 毎回、注射ごとに新しい注射針を使用してください。
- ・ 注射針の保護シールが破損している場合は、使用せず新しい注射針に交換してください。

6

「針ケース」をまっすぐ引っぱってはずします。



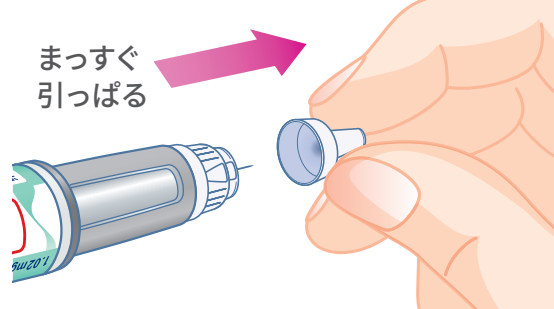
- ・ はずした針ケースは**廃棄しない**でください。
(後で使用します。)



針ケース

7

「針キャップ」をまっすぐ引っぱってはずします。



- ・ はずした針キャップは**廃棄**します。



針キャップ

- ・ 針先から薬液が出ていますが、故障ではありません。
- ・ 注射針を曲げたり傷つけたりしないでください。

新しいウゴービ®皮下注 MDを使用する前に

既にペンを使用している場合(2回目以降の場合)は不要です。下段の「**投与量の設定**」に進んでください。

動作確認

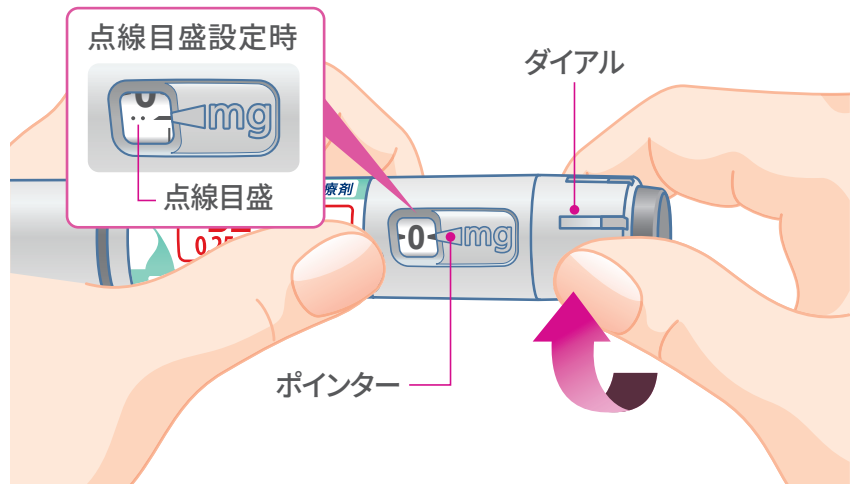
新しいペンを使用する前には必ず、針先から薬液が出ることを確認してください。

2回目以降は動作確認は不要です。

a

ダイヤルを回し「点線目盛」をポインターに合わせます。

ダイヤル表示が「0」であることを確認したうえで、ダイヤルを「点線目盛(0のすぐ後)」に設定します。



ウゴービ®皮下注 MDの注射手技

投与量の設定

8

ダイヤル表示の確認

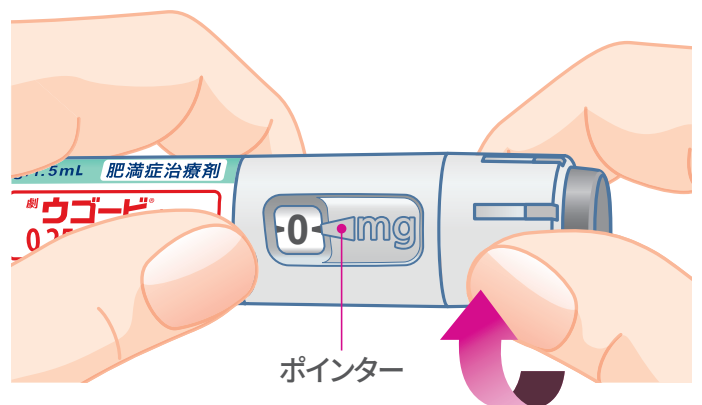
まずは、ダイヤル表示が「0」になっていることを確認します。



9

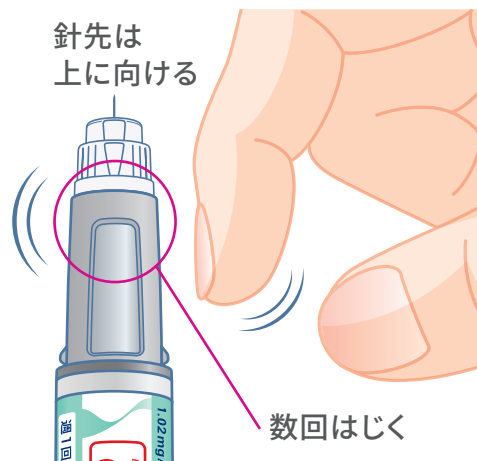
ダイヤルを回し、

1と同じ用量をポインターに合わせます。



b

カートリッジ内の気泡を上部に集めます。



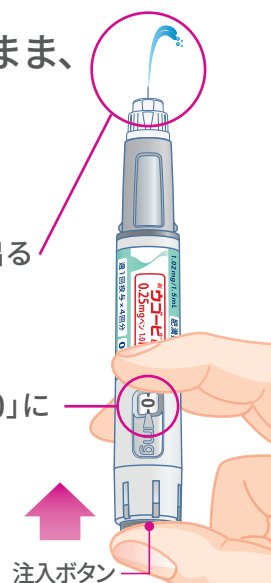
c

針先を上に向けたまま、注入ボタンを押し込みます。

針先から薬液が出る

ダイヤル表示が「0」になったことを確認

注入ボタン

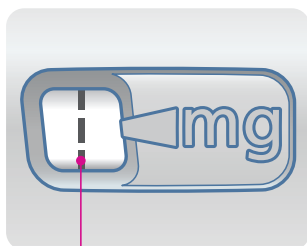


- 必ず薬液が出ることを確認してください。
- 動作確認を3回実施しても薬液が出ない場合は、注射針を交換して、もう一度行ってください。それでも薬液が出ない場合は、そのペンを使用せず、別の新しいペンに交換してください。

10

ダイヤル表示の確認

注射する量が表示されるまで、ダイヤル表示内には破線が表示されます。

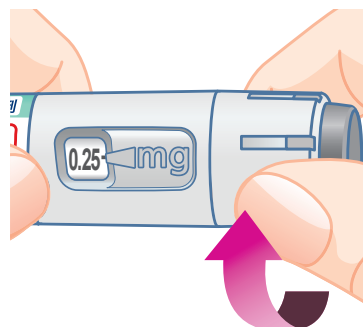


破線

11

注射する量を、ポインターに合わせて設定します。

図は0.25mgに合わせた場合の例です。

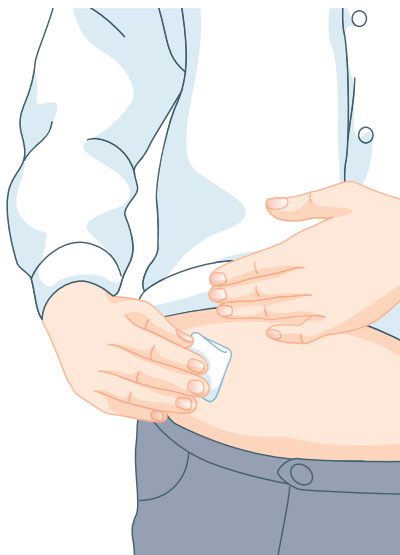


- ダイヤル表示は、注射する量以上回りません。また、カートリッジ内の残量以上ダイヤル表示は回りません。
- ダイヤル表示が止まったら、それ以上無理に回さないでください。故障の原因になります。

注射

12

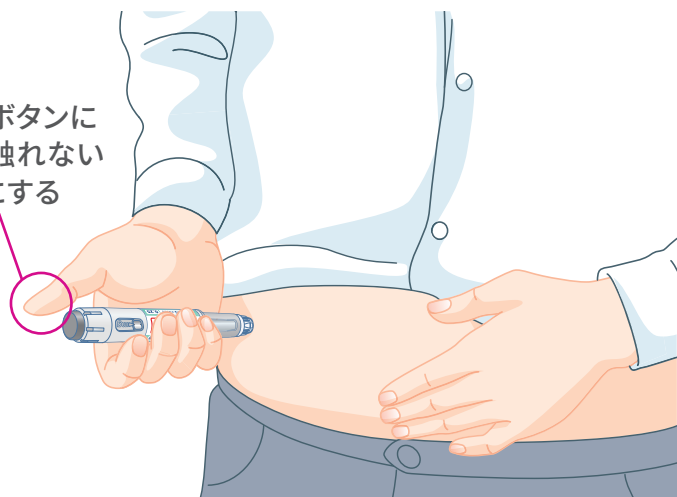
注射部位を消毒します。



13

皮膚の面に対して、まっすぐに根元まで刺してください。

注入ボタンに
指が触れない
ようにする

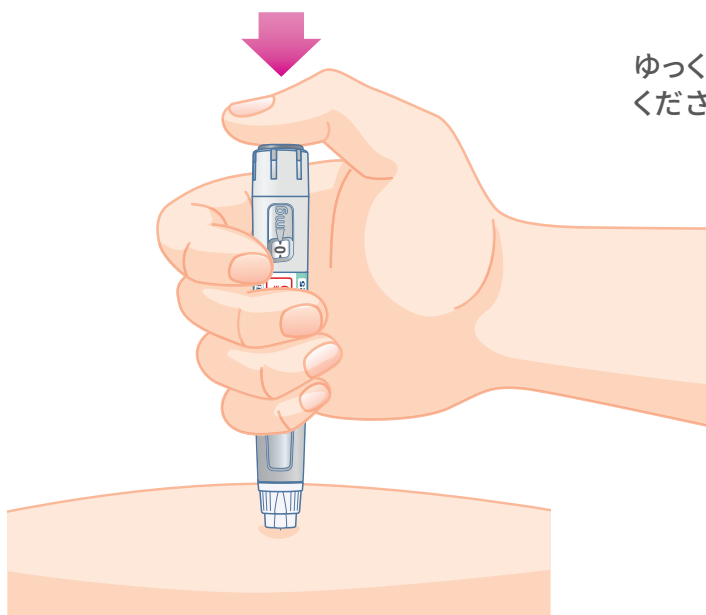


・注射する量、注射する部位などは、必ず主治医の指示に従ってください。注射する量などを勝手に変更したり、治療を中断しないでください。

15

6秒以上注射針を刺したままにします。

完全に薬液を注入するため、注入ボタンを押した状態で、**6秒以上**注射針を刺したままにしてください。



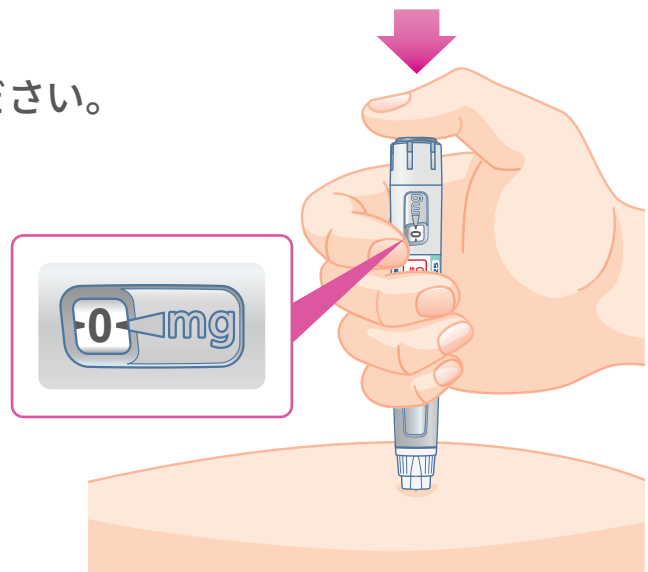
ゆっくり数えて
ください



14

「カチッ」と音がするまで
注入ボタンを真上から押してください。

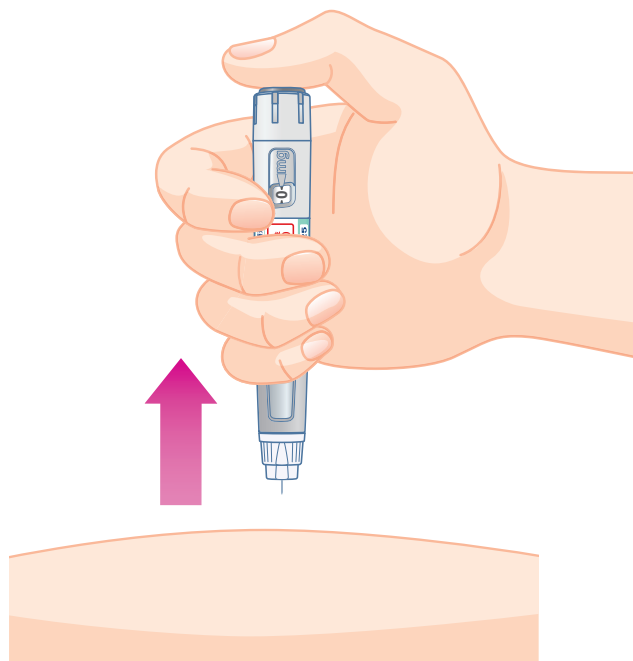
ダイヤル表示が「0」に戻ります。



- 注入ボタンを押すとダイヤル表示が回るので、ダイヤル表示に指が触れないようにしてください。
- ダイヤル表示が「0」に戻ったことを必ず確認してください。
注入ボタンを押し続けても、ダイヤル表示が「0」に戻っていない場合
→「故障かなと思ったら」13ページ参照

16

注入ボタンを押したまま
注射針を抜いてください。

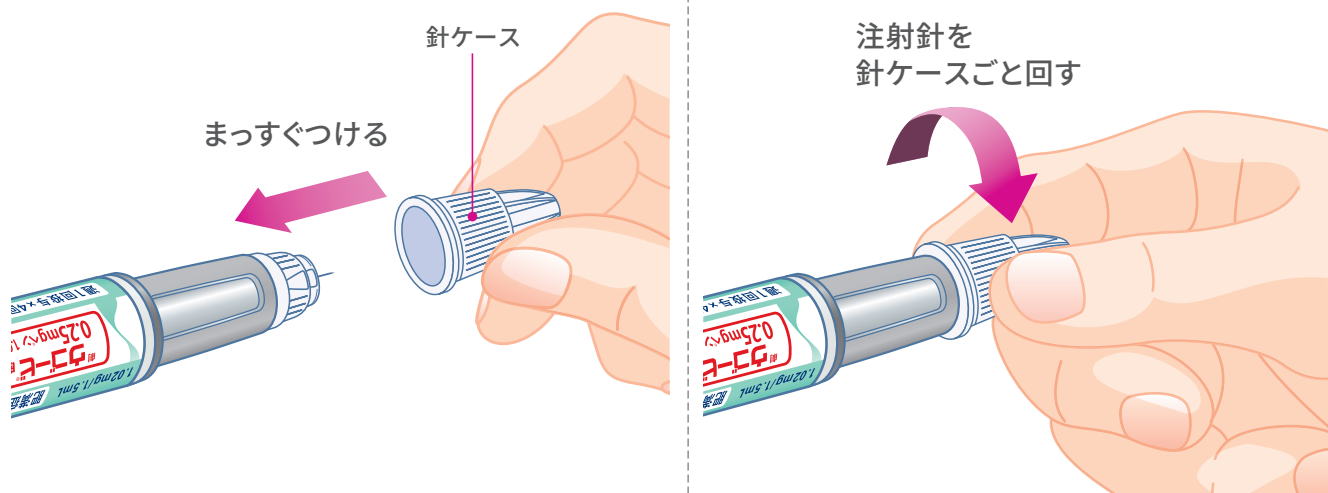


- 注射針を抜いた後、針先に滴がついていることがありますが、注射した量に影響はありません。
- まれにカートリッジ内に血液が混入し、薬液に浮遊物がみられたり、変色したりすることがあります。
その場合は、新しいペンをご使用ください。

注射が終わったら

17

注射針に「針ケース」をまっすぐつけ、針ケースごと回します。



- ・注射後は必ず直ちに注射針をはずしてください。
- ・針ケースを斜めからつけると、注射針が針ケースを突き抜けることがあります。

注射部位について

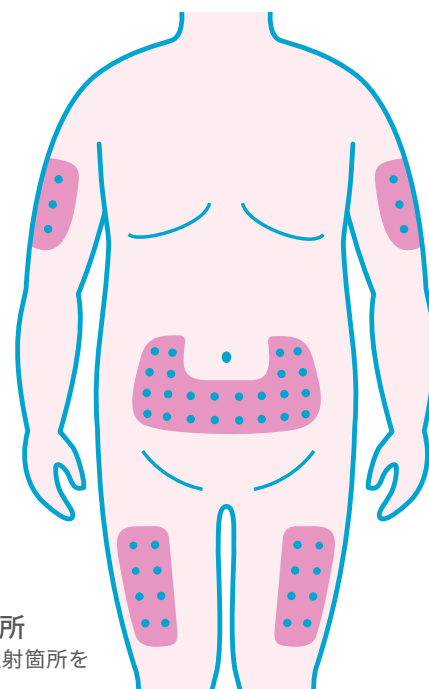
ウゴービ®の注射部位は、腹部、大腿、上腕のいずれかを、主治医と相談して決めます。

注射箇所は毎回変更し、少なくとも前回の注射箇所より2～3cm離してください。



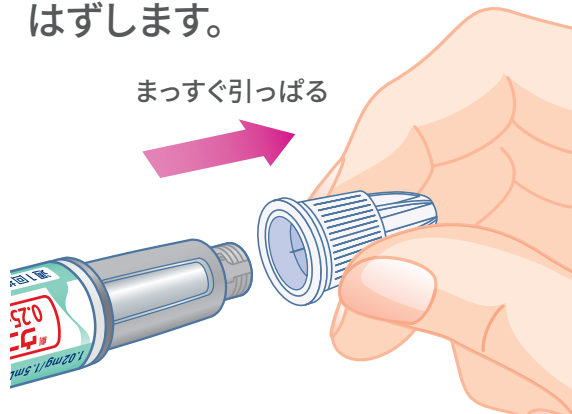
- ・いつも同じところに注射すると、皮膚がへこんだり逆にふくれたりすることがありますので、毎回、注射箇所を変えるようにしてください。

●●● 注射箇所
※ 毎回注射箇所を変える

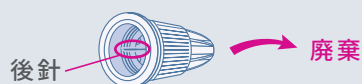


18

まっすぐ引っぱって注射針をはずします。

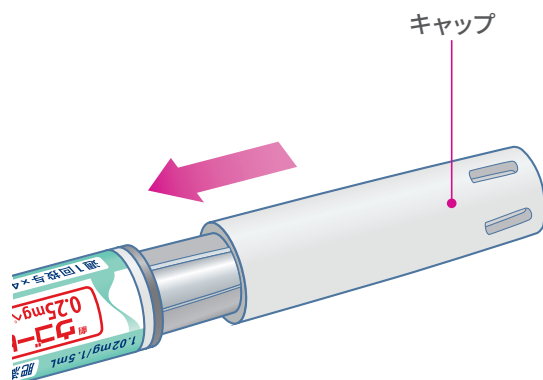


はずした注射針は、後針が折れているなどの異常がないか確認したうえで、**廃棄**します。



19

ペンにキャップをつけます。



残量がなくなったペンは注射針をはずして**廃棄**します。



・使用済みの注射針の廃棄方法については、主治医の指示に従って廃棄してください。

注射を忘れてしまった場合の対処

次の投与予定日まで2日(48時間)以上の場合

気づいた時点で直ちに1回分を投与し、
その後はあらかじめ決められた曜日に投与してください。

例) 日曜日が投与日

日	月	火	水	木	金	土
投与忘れ	忘れた分を投与する				1回分スキップ	
次回分投与						

次の投与予定日まで2日(48時間)未満の場合

忘れた分は投与せず、次の投与予定日に1回分を投与してください。

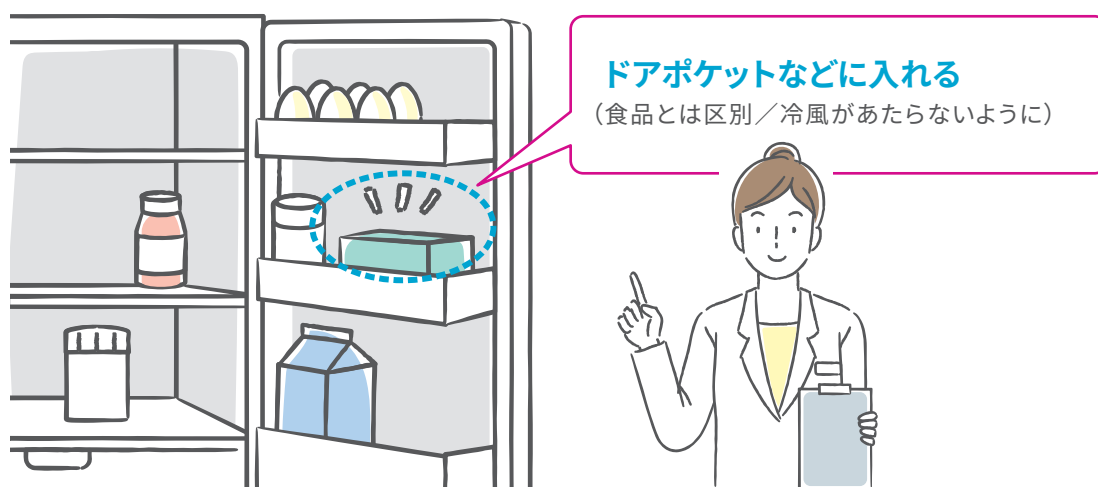
2回分を一度に投与するなど、忘れた分を埋め合わせないでください。

保管方法

未使用時

ウゴービ®を持ち帰った後は、使用するまで冷蔵庫(2～8℃)で保管してください。

- 冷蔵庫での保管は凍結させないようにしてください。
- 冷蔵庫内で保管する場合は、食品などとは区別して清潔に保管してください。
- フリーザーの中や冷蔵庫内の冷風が直接あたるような場所は、凍結するおそれがあるので避けてください。
- 一度凍ったウゴービ®は使用しないでください。健康障害が生じるおそれがあります。



使用開始後

使用開始後は、室温または冷蔵庫(2～8℃)で保管してください。

- 冷蔵庫での保管は凍結させないようにしてください。
- 使用開始後**6週間以内**に使用してください。
- 必ずキャップをつけて保管してください。(必ず注射針をはずしてください。)
- ウゴービ®や注射針などは、お子様の手の届かないところに保管してください。



・ 次のような場所を避けてください。故障の原因となったり、品質に影響を及ぼしたりすることがあります。

- ・ ほこりやゴミが付着しやすい場所
- ・ 汚れやすい場所
- ・ 水のかかりやすい場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 極端に高温または低温になる場所(自動車内など)

故障かなと思ったら

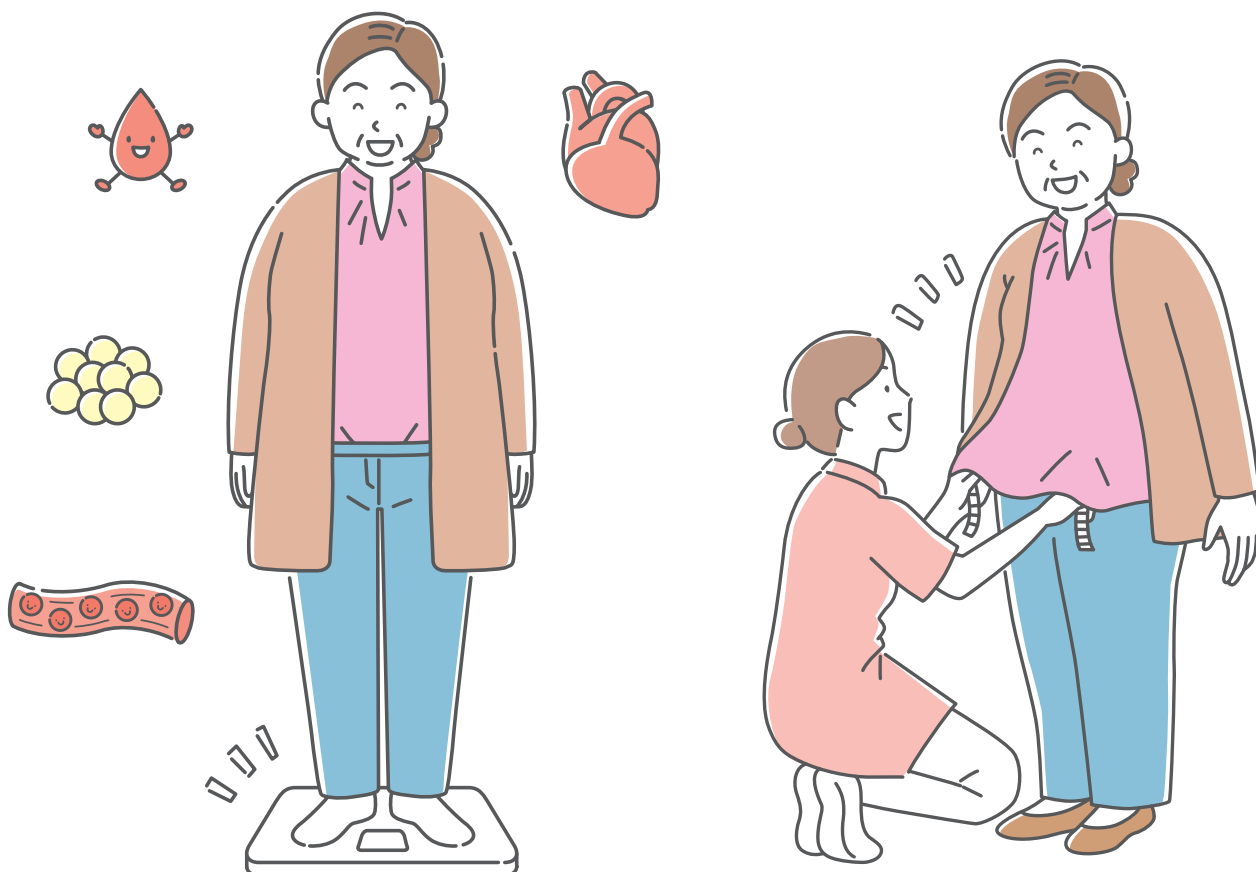
これらの対処を行っても問題が解決しない場合は、主治医またはノボケア相談室にご連絡ください。

現 象		原 因	対 処 法
初期状態	カートリッジの中に気泡がある	注射針を交換したときにカートリッジの中に気泡が入った可能性があります。	針先を上に向けてウゴービ®を持ち、カートリッジの上部を指で軽く数回はじいて、カートリッジ内の気泡を上部に集めた後、「新しいウゴービ®皮下注 MDを使用する前に」(6ページ)の方法で薬液が出ることを確認してから注射をしてください。 ●カートリッジ内の小さな気泡は完全に打ち出すことはできませんが、これは異常ではなく、薬液が出るのが確認されていれば、注射に影響はありません。
	注射針が取り付けられない	注射針に異常がある可能性があります。	①、②の順で対処してください。 ①注射針を交換してください。 ②注射針を交換しても取り付けられない場合は、新しいペンに交換してください。
	主治医から指示された量に設定できない	残量が不足しています。(カートリッジ内の残量以上の量は設定できません。)	新しいペンに交換してください。
	ダイヤルが回らない		
新しいペンを 使用する前に	「新しいウゴービ®皮下注 MDを使用する前に(動作確認)」(6ページ)で、薬液が出ない	注射針が曲がっている、または針穴が詰まっています。	新しい注射針に交換してください。 ●注射針は「注射針の取り付け」(4ページ)の説明どおり正しく取り付けてください。また、使用前に注射針を曲げたり傷つけたりしないでください。 ●「新しいウゴービ®皮下注 MDを使用する前に」(6ページ)の方法で、薬液が出ることを確認した後、注射を行ってください。
注 射	ダイヤル表示が「0」に戻っていない	注射針が曲がっている、または針穴が詰まっているため、薬液が出ていません。	新しい注射針に交換してください。 ●注射針は「注射針の取り付け」(4ページ)の説明どおり正しく取り付けてください。また、使用前に注射針を曲げたり傷つけたりしないでください。 ●「新しいウゴービ®皮下注 MDを使用する前に」(6ページ)の方法で、薬液が出ることを確認した後、注射を行ってください。
		注入ボタンを押してダイヤルが回り始めてから、ダイヤル表示が「0」になるまでに時間差があるために、注入ボタンから指を離してしまった可能性があります。	注入ボタンを、ダイヤル表示が「0」になるまで押し続けてください。注射針を抜いた後、表示が「0」に戻っていないことに気づいた場合は、設定した量の一部の薬液が注射されなかったおそれがあります。主治医に相談してください。

ウゴービ®治療の効果と主な副作用

治療により期待される効果

ウゴービ®は、週1回の投与を続けることによって、食欲を抑制し、エネルギー摂取量や食べ物の好みを変化させて体重を減少させます。



ウゴービ®による治療により、次の効果が期待できます。

- 内臓脂肪の減少
- 体重減少
- 腹囲(おへその位置)の減少

主な副作用

ウゴービ®の主な副作用には、低血糖、消化器症状、急性膵炎、胆のう炎、胆管炎、胆汁うっ滞性黄疸^{オウダン}などがあります。

低血糖

- 脱力感、倦怠感、強い空腹感、冷や汗、血の気が引く、動悸^{ドウキ}、ふるえ、頭痛、めまい、吐き気などが起こる場合があります。
- これらの症状を感じたら、すぐに主治医に相談してください。

疲れやすい



冷や汗が出る



血の気が引く



手足のふるえ



消化器症状

- 吐き気、おう吐、下痢、便秘、消化不良、腹痛などが起こる場合があります。
- 数週間で治まることもありますが、気になる症状があらわれたら、自分の判断で治療を止めず、主治医に相談してください。



吐き気



下痢・便秘

急性膵炎

- 吐き気、おう吐、激しい上腹部の痛み、背中の痛み、お腹にあざができる、お腹が張るなどが起こる場合があります。
- これらの症状を感じたら、すぐに主治医に相談してください。



背中の痛み

胆のう炎、胆管炎、胆汁うっ滞性黄疸^{オウダン}

- 白目が黄色くなる、腹痛などが起こる場合があります。



腹痛

他にも気になることがあれば、主治医に相談してください。

ウゴービ®に関する情報は、弊社ホームページ内のウゴービケア®でも
ご確認いただけます。二次元コードまたはURLよりアクセスしてください。



**ウゴービ®皮下注
患者さん向けWebsite (ウゴービケア®)**

[https://www.novonordisk.co.jp/products/how-to/
injection-obesity/wegovy-md.html](https://www.novonordisk.co.jp/products/how-to/injection-obesity/wegovy-md.html)

ウゴービ®皮下注 MDの詳しい投与方法は、
動画でもご確認いただけます。
二次元コードまたはURLより
アクセスしてください。



**ウゴービ®皮下注 MD
ムービーガイド**

[https://nn-product.videomarketingplatform.co/secret/
114265686/6d863a56a8eac8c89270802bb1ee39fe](https://nn-product.videomarketingplatform.co/secret/114265686/6d863a56a8eac8c89270802bb1ee39fe)

弊社製品に関するお問い合わせ (治療内容に関しましては、主治医にご相談ください)

ノボケア相談室



月曜日から金曜日
(祝日・会社休日を除く)



0120-180363



**夜間及び
土日・祝日・会社休日**

(注) お問い合わせ内容によっては、翌営業日に
回答させていただく場合がございます。



0120-359516

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1
www.novonordisk.co.jp